



DSO参加機関の公開イベントご案内

◆産業技術総合研究所◆ 第1回 ワーク・ライフ・バランスセミナー
「ココロとフトコロを元気に ～こんな時代のライフ＆マネープラン～」
【講師】神田 理絵 氏 K&K FP オフィス 代表、ファイナンシャル・プランナー(第1級FP技能士)

【概要】
講師は、ライフプランに関する企業・自治体などの講演、執筆等の豊富な経験をお持ちです。セミナーでは「一体いつ、いくらぐらいのお金が必要になるのか?」の不安の「見える化」、「お給料が増えない時代」に合った家計管理、生活設計の考え方などをご紹介します。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 「ライフプラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生の3大資金(住宅、教育、老後・介護) ・家計のバランスシートとは? ・お金が貯まる時期は3つだけ | <p>2. 「マネープラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を増やす方法は3つだけ ・2大固定費を見直そう ・マネーリテラシーを上げるには? |
|--|--|

【日時】2012年5月18日(金) 13:30～15:30
【場所】産業技術総合研究所 つくばセンター中央 共用講堂2階 大会議室
※産総研地域センターでもTV会議システムにて同時配信予定です(web参照)。
【対象】産総研・DSO参加機関所属の方
【申込】氏名・所属(機関・大学名など)・メールアドレス・参加会場・事前質問(もしあれば)をご記入の上、下記連絡先まで 電子メールにてお申込下さい(締切:5月14日)
【詳細】http://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/120518_wlb_seminar.html
【連絡先】産業技術総合研究所 ダイバーシティ推進室 WLB担当
e-mail:worklife-sec@m.aist.go.jp TEL:029-862-6418



*産総研は、働く人材が十分に能力を発揮するために、多様な属性・ライフスタイルをもつ個々人の生き方に合わせて、また、子育てや介護等のライフステージにおけるニーズにも対応した、柔軟な働き方を実現できる環境を目指した取組を行っています。
その一環として、ダイバーシティ推進室では、平成19年以来開催してきた「介護に関する勉強会」等をワーク・ライフ・バランスセミナーとして発展させ、適宜開催していくこととしました。

お役立ち情報

内閣府 男女共同参画局 (<http://www.gender.go.jp/>) へ、「男性にとっての男女共同参画」ページが新設されました。男女共同参画の意義について、男性の立場・視点から理解を深めることに役立つ情報を掲載していくものです。

- 「男性にとっての男女共同参画」
男女共同参画というと多くの方が、「それは女性のためのもの」と感じるかもしれませんが、男性にとっても重要な問題だと思えます。例えば、こんな経験はないでしょうか。
・育児休職を取りたくても「奥さんがいるのに何で君が?」と取れなかった
・「男は弱音を吐くべきでない」との思いから、悩み事を相談できずにいた
「男性だから」という意識が、あなた個人と社会全体にとっても重荷になっていることがあるのではないのでしょうか。
- 固定的性別役割分担意識
「男は仕事・女は家庭」等のように性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のことを「固定的性別役割分担意識」と呼んでいます。女性が「固定的性別役割分担意識」によって社会進出を阻まれてきた、ということはよく言われていますが、男性も、「男は仕事」、「男は強くなければならない」など、性別による役割の固定化を受けてきたと言えます。
- 「男女共同参画社会」のめざすもの ～男性にとっても暮らしやすい社会を
私たちのめざす男女共同参画社会とは、男性だから、女性だから、ということではなく、ともにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる社会です。男性自身の、男性に関する「固定的性別役割分担意識」を解消できれば、男性がより暮らしやすくなる社会を築いていけるのではないのでしょうか。

ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

男女共同参画の取り組みを進めている研究教育19機関では、ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)を組織し、ワークライフバランス支援や意欲触発支援のノウハウを蓄積・発信・共有を進めております。

*DSOメンバー(参加順):産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業環境技術研究所、千葉大学、筑波大学、神戸大学、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、農業生物資源研究所、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学、岡山大学
「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして月1回発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

シリーズ:DSO参加機関のご紹介 ⑨

DSO参加機関同士の理解を深めるため、各機関の紹介と最近の取り組みについてご紹介します。

*** 国立大学法人 筑波大学 ***

【機関概要】

筑波大学は、人文社会科学から理学、工学、情報科学、農学、医学、体育芸術まで、幅広い学問分野をカバーする7つの学群と2つの専門学群ならびに3つの大学院課程から成る総合大学です。「開かれた大学」を目指し、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを基本理念として、個性と自立を基軸とし、世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する人材の創出に向けた教育研究を推進しています。平成24年3月現在、学群生9,931名(内女子3,886名、外国人留学生186名)、大学院生6,672名(内女子2,270名、外国人留学生1,154名)、平成24年4月現在、教職員は4,563名(内女性1805名、外国籍教職員104名)が在籍しています。



【本学所在地】

茨城県つくば市天王台1-1-1

【ウェブサイト】

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/>

【男女共同参画への取組】

本学の男女共同参画の取組は長く、平成9年に女性教員懇話会、平成10年には男女共生プロジェクトが発足しています。平成20年には男女共同参画推進室を設置し、「筑波大学男女共同参画の推進に係る基本理念・基本方針」を定め、ワーク・ライフ・バランスに視点を置きながら、「人間の可能性と多様性を尊重し、すべての構成員が働く誇りと喜びを実感できる大学」作りに取り組んでいます。平成21年度には、「持続可能な女性研究者支援、筑波大スタイル」が平成21年度「女性研究者支援モデル育成事業」として採択され、平成23年度3月まで、同事業の支援を受けて環境整備に努めてきました。

具体的な取組としては、①女性研究者への支援体制(ワーク・ライフ・バランス相談室“あう”の開設、アカデミックメンター制度の確立、管理職にある女性研究者への補助者の派遣等)、②出産・育児中の研究活動支援(出張時のベビーシッター経費等支援、出産・育児休業中の研究補助者雇用経費の支援等)、③意識啓発活動(FD/SD研修会、学長と女性研究者の懇話会等)、④女性研究者の裾野拡大(ロールモデル懇談会の開催、ロールモデル集配布等)を行っています。これらの取組が評価され、平成23年度茨城県子育て応援企業表彰の「仕事と子育て両立支援部門」において優秀賞を受賞しました。

【男女共同参画からダイバーシティへ】

平成24年4月からは男女共同参画に加え、他国籍や障害をもつ教職員も安心して勤務できる環境作りを目的として、名称を男女共同参画推進室から「ダイバーシティ推進室」に変更し、さらなる事業の拡充に努めています。

これからも、ダイバーシティの推進を持続するため、DSO参加機関の皆様と連携を図って参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「茨城県子育て応援企業表彰」とは、従業員や地域の子育て支援に積極的に取り組んでいる企業のうち、顕著な成果があったものを表彰するものです。

ダイバーシティ推進室ホームページ

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学ダイバーシティ推進室 検索

筑波大学ダイバーシティ推進室
Unit of Diversity (男女共同参画推進室)筑波大学
University of Tsukuba
〒305-8568 茨城県つくば市
HOME お問い合わせ

持続可能な女性研究者支援、筑波大スタイル

男女共同参画推進室では、女性の能力を存分に発揮できる環境づくりを目指しています！

